

第4学年1組 道徳学習指導案

平成 23年 10月 18日 (火) 第5校時
在籍児童数 男子 20名 女子 12名 計 32名
指導者 教諭
場所 4年1組 教室

- 1 主題名 よりよい学級に 4-(4) 愛校心
- 2 資料名 「ハッピースマイル」 出典 埼玉県道徳教材資料集「みんななかよし」
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は中学年の内容項目4-(4)「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする態度を育てる」ことをねらいとしている。低学年では、4-(4)として「先生や学級に人々を敬愛し、学級の生活を楽しくする」であり、低学年の「学級を楽しくする」という部分が、中学年では「みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする態度」に変わっている。中学年では、学校生活をよいものにするため、より積極的に行動することを重視している。学校という集団生活の中で、自分の役割と責任を自覚し、よりよい学級をつくっていこうと努力する児童の育成をめざすものである。高学年では、「先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる」として4-(6)につながっていく。

(2) 児童の実態について

(※児童の実態は、HP上では消してあります。)

事前アンケートの結果は以下の通りである。

<調査日 平成23年9月2日>

①あなたにとって、4年1組はどんなところですか。

- ・楽しいところ…13人・勉強するところ…11人・仲良しの友達がいるところ…5人
- ・明るいところ…2人・最高…1人

②4年1組のよいところはどこだと思いますか。(複数回答)

- ・友達がやさしい…10人・仲よし…8人・助け合える…5人・元気…5人・明るい…2人
- ・運動ができる…1人・外遊びをする…1人・心が一つ…1人・一緒に行動できる…1人
- ・自分の意見が言える…1人

③日直・給食当番などの当番活動をどう思いますか。

- ・やるのが好き…26人・当番だからしかたない…6人・できるならやりたくない・きれい…0人

④あなたは、他の人が当番活動をやりわすれていることに気づいたらどうしますか。

○やってあげる…10人

- 【理由】・やった方がいい…4人・協力してあげる…2人・友達だから…2人
・みんなが困るから…2人

○声をかけて、その人に教える…20人

- 【理由】・その人が仕事をすべき…12人・その人のため…4人・みんなが困るから…2人
・自分のやることでない…1人 忘れていると思うから…1人

○何もしない…2人 【理由】・その人の仕事だから…1人・そのうち気づくから…1人

①「4年1組はどんなところ」の質問に対して、「楽しいところ」「勉強するところ」「仲良しの友達」など意見が多く、4年1組という場を肯定的にとらえていることが分かる。②「4年1組のよいところ」の質問に対しては、「友達がやさしい」、「仲よし」、「助け合える」などの意見が多く、児童は友達との関わり

を大切に考えているようである。②「当番活動」については、26人（80%）の児童が「やるのが好き」と答え、積極的に当番活動をしている様子がうかがえる。しかし、③「当番が忘れていないことに…」という質問に対しては、「声をかけてその人に教える」と答える児童が20名（62%）おり、自分の仕事はきちんとするが、他の人の仕事まで行うことにはやや消極的であることが分かった。

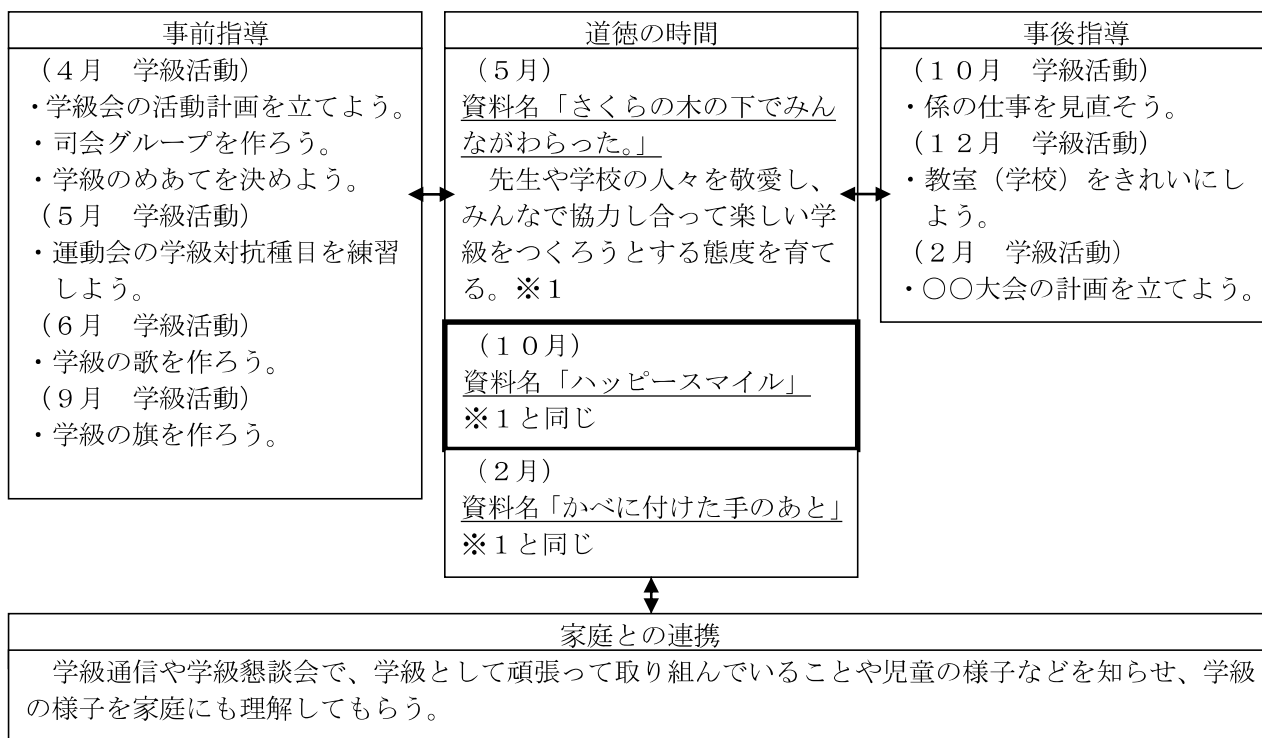
楽しい学校生活とは、学級内のみんなが当番活動や係活動などを協力し合い、時に不足なことは助け合いながら行うことにより支えられている。児童自身が楽しい学校生活にするために、自分に何ができるか自身で考え実践する機会とし、積極的な学校生活を営む姿勢や態度を養うことの大切さに気付かせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、主人公はるかの子学級では「わたしもいい。みんなもいい。」という言葉が学級の合言葉としてある。ある日給食当番が欠席し、昼休み配膳台が片づけられずに残ってしまう。はるかはそのことに気付きながらも、昼休み遊びに行ってしまう。5時間目先生の言動によって、自分の行動を反省し、みんなで配膳台を片づける。はるかは学級の合言葉の意味を実感するという内容である。

自分のことしか考えられなかったはるかが自分を振り返り、学級はみんなで協力し助け合うことによって楽しく生活できることに気づいていく。はるかの行動の迷いをじっくり考えさせ、よりよい学級づくりを実現しようとする態度を育てていきたい。

4 他の教育活動との関連



5 本時の学習

(1) ねらい

先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする態度を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価	時間
導入	1 学級の様子を知る。	・学級での出来事を想起する。	・学級での出来事を想起させ、資料への課題意識を持たせる。	3分

展 開 め る	と ら え る	<p>2 資料「ハッピースマイル」の話を知る。 ・条件・状況を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【登場人物】 主人公：はるか 相方：青木先生 【条件・状況】 学級の合言葉 ハッピースマイル「わたしもいい。みんなもいい。」 四月、笑顔でいられるようにとみんなで決めたが、二学期をすぎた最近、笑顔も少なくなってきた。 はるかは給食当番。配膳係が欠席し、昼休み配膳台が片づけられずに残ってしまう。はるかはそのことに気づきながらも、昼休み遊びに行ってしまう。</p> </div> <p>・教師の判読を聞く。</p> <p>3 話題の整理と確認をする。 ・主人公はるかの気持ちや行動で気になったところを発表する。</p>	<p>・みんなで話し合いたいところに線を引かせ、発表させる。 ・児童の発表をもとに、話し合いの柱を決める。 ☆主人公の気持ちを考えてみたいと思えたか。</p>	場面絵 短冊 7分
	深 め る	<p>4 はるかの気持ちを中心に話し合う。 (1) 片づけられていないままの配膳台を気にしながらも遊びにってしまったはるかは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>(2) 「それでいいのかな。」という先生の言葉にどうしていいかわからず、うつむいてしまったはるかは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p>	<p>・早く外で遊びたい。 ・だれかが片づけるだろう。 ・私の仕事でない。 ・片づけていると、昼休みの時間が減ってしまう。 ・みんなから遅れてしまう。</p> <p>【片づける】 ・係りが休みなので、代わりにやればよかった。 ・当番だから、やればよかった。 ・気づいていたのに、遊びに行ってしまうって、いけなかったな。 ・片づければこんなことにならなかった。</p> <p>【片づけなくてよい】 ・他のだれかが片づければよかった。 ・私は、自分の仕事をやったからやらなくていい。</p> <p>・出した人が片づけられよう。 ・自分の仕事でない。</p>	<p>・はるかが、自分の当番の仕事きちんと行っていることを押さえる。 ・全員で遊ぶ日だったので、配膳台が残っていたことに気づきながらも、遊びに行ってしまうはるかの気持ちに共感させる。 ・「それでいいのかな。」という先生の言葉をキーワードに、児童自身への問いかけにしている。 ・配膳台を片づけるべきか、しなくてもよいのではという2つの考えに触れ、はるかの迷いをじっくり話し合わせたい。 ・2つの考えを併せ持つはるかの心情を、心の円盤で表現させる。</p> <p>☆はるかの迷う心情を捉えることができたか</p>

深 め る	<p>(3) はるかとはどんな気持ちから、思わず席を立て「私が片づけます。」と言いながら、配膳台に向かって走ったのでしょうか。</p> <p>(4) 片づけが終わった時、はるかとはどんな気持ちになったでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学級のことだから、私がでやります。 片づけると気持ちがいいから、片づけます。 他のクラスの先生が行うことでないから、片づけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 迷っていたはるかが、思わず席を立て片づけるという行動を選んだわけを考える。 はるかの行動によって他の人も、片づけに集まる様子を捉える。 	
	<p>5 学級のために自分にできることを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に片づけることができよかったです。 一緒に片づけると気持ちがいい。 みんなでやってよかったです。 ハッピースマイルになった。 みんなで協力できてよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなで協力し活動することで、学級みんなが笑顔になることを押さえる。 「協力」「助け合い」という言葉を導いていきたい。 <p>☆学級はみんなで協力しできることを助け合うことによって、よりよい場になることを捉えることができたか。</p>	5分 ワークシート
みつめる	<p>6 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達が勉強が分からなくて困っていたら、やり方を教えてあげるよ。 日直など当番活動が大変な時は手伝ってあげるよ。 掃除を一緒に協力して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分は何ができるか考えることによって、よりよい学級にしようとする意欲を高める。 <p>☆よりよい学級にするために自分ができることを意欲的に考えることができたか。</p>	5分
終末	<p>6 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 校長先生の説話を聞き楽しいクラス作りへの意欲付けを図る。 	5分

6 評価の観点

・はるかの迷う心情を捉えることができたか。【発言・観察】

・よりよい学級にするために、自分ができることを意欲的に考えることができたか。

【発言・プリント】

【板書計画】

ハッピースマイル

学級のあいことば 「わたしもいい。みんなもいい。」

はるか 絵

- ・今週 給食当番
- ・配ぜん台係 休み
- ・昼休み 学級全員で遊ぶ日

青木先生 絵

配ぜん台

給食前：用意されていた
昼休み：残っていた：

配ぜん台を気にしながらも遊びにいつてしまう

絵

「それでいいのかな。」 どうしていいかわからず、うつむく

かたづけ

かたづけなくてよい

絵

思わず席を立て「私がかたづけます。」と配ぜん台に向かって走る

絵

ペーサート

かたづけが終わった時

絵

ペーサート

協力・助け合い

笑顔の絵

笑顔のない絵